

ELISA法によるコラーゲン 産生試験

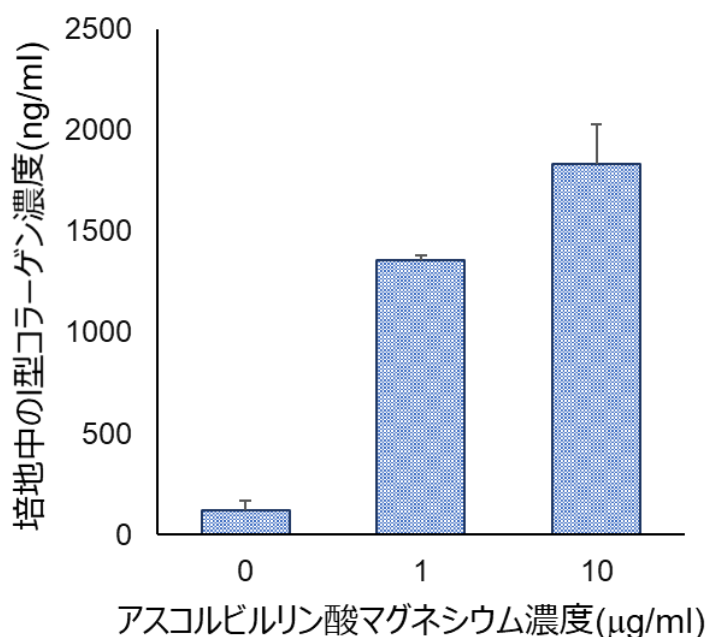


SUSCARE

1. 測定条件

ヒト線維芽細胞を24時間培養後、アスコルビルリン酸マグネシウムを所定の濃度添加し、さらに72時間培養した。培養後、培養上清中に含まれるI型コラーゲン量をELISA法により定量した。

2. 測定結果



3. 測定結果から得られる情報

I型コラーゲンは真皮に多く含まれ、肌の土台となるため、その産生量の増大により、肌のシワやハリに対する改善効果が期待される。

4. 依頼費用例

お問い合わせください。

※あくまで参考価格です。試験内容によって料金は変わりますことご了承下さい。
ご不明な点等ありましたら[お問い合わせ](#)ください。